

認定NPO法人 国連WFP協会

【代表】会長 安藤 宏基

【設立】1999年

【URL】<http://wfp.org/jp>

寄付先団体の
活動を知ろう！

世界には、全ての人に行き渡るのに十分な量の食べ物があります。でもいま、世界では9人に1人、およそ8億人が飢餓に苦しんでいます。飢餓の大きな原因は、貧困です。

国連WFPは、飢餓と貧困をなくすことを使命とする国連唯一の食料支援機関として、毎年世界80カ国で9,000万人に食料支援を行っています。

ゆび募金は、途上国の子どもたちの学校給食に

皆さまのご寄付は「学校給食プログラム」に活用されます。

これは、途上国の学校で栄養価の高い給食を無償で提供することにより、子どもたちの健全な発育を助けると同時に、就学率・出席率の向上に寄与する活動です。

子ども1人につき1日およそ30円で、栄養たっぷりの給食を届けることができます。



© WFP/Boris Heger

学校給食でつなぐ未来 ～ラオス～

途上国の女の子の生活は容易ではありません。多くの女の子は、兄弟の世話や家の手伝いをしたり、若くして結婚するのが当然とされています。



© AC ジャパン



2011年
(中央がパンちゃん)

2011年、ラオスでパンちゃんという女の子に出会いました。当時は小学2年生で、国連WFPの給食を食べて元気に学校に通っていましたが、下校後は水汲みや近所の子どもの世話をし、週末は宿題もしますが、畑で雑草を刈り、両親の手伝いをしていました。その頃の将来の夢は、学校の先生。クラスでも成績トップのパンちゃんの夢を給食で支えることが、国連WFPの願いでした。



© M. Kuroyanagi

2016年

5年後の2016年、13歳になったパンちゃんに再会することができました。

「小学校では毎日給食を食べることができたので、しっかりと勉強ができました。中学校を卒業したら、高校に行って、将来は学校の先生になりたいです」

パンちゃんは変わらぬ夢を、笑顔で話してくれました。

給食は彼らの命をつなぐだけでなく、通学を可能にし、勉強の意欲を高め、夢を広げるための大きな力になっています。これからも1人でも多くの子どもが学校に通い、未来の担い手として成長できるよう、皆さまの温かいご協力をお願いいたします。